

教育プログラム(団体)利用のご案内

学校団体、一般の団体を問わず、15名以上であれば入場料が割引となります。
団体でご来場の際は、事前にご予約ください。下見、資料発送、昼食場所についても、お気軽にご相談ください。

下見は無料で受け付けています！

利用を検討中、予約完了後、いずれも下見が可能です。お申込みはメールかFAXをお願いします。

お申込みの流れ

【受付期間】

ご希望日の1年前から1ヶ月前まで予約を受け付けます(1ヶ月を切ったお申込みをご希望の際は、まずお問い合わせください)。

【学校単位での事前申込み】

旅行会社をご利用の場合→旅行会社を通じてお申込みください。
旅行会社をご利用されない場合→下記手順に沿って、直接お申込みください。

1 お申込み 団体利用申込書をメールかFAXでお送りください。

※団体利用申込書は、ホームページから入力(メール送信)またはダウンロードできます。ホームページ「お申込みの流れ」をご確認ください。
<https://www.smallworlds.jp/learning/>

2 ご予約確定 団体予約確定書、事前支払いに関するご案内をお送りします。

※お申込み時の連絡方法(メールかFAX)でお送りします。団体利用申込書ご送信から、3営業日以内にご連絡します。
お申込みから1週間以上経過しても、当方から連絡が入らない場合は恐れ入りますが下記までご連絡ください。

SMALL WORLDS教育団体受付係(受付時間 月～金10:00～18:00 ※土日祝を除く)
TEL.03-5843-8660 / メールアドレス edu@smallworlds.asia

3 ご来場 団体予約確定書を持参のうえSMALL WORLDSにご来場ください。

来場時のご注意

ご来場前に、以下の事項をご周知ください。また、ご引率の際は、これらの事項をお守りくださいますようご指導お願いします。
ほかのお客様のご迷惑となる場合、ご退場をお願いする場合があります。

- 施設内では走ったり、大声を出したりしないでください。
- 階段をかけ上がった、遊んだりしないでください。
- 飲食は決められた場所をお願いします。

食事・休憩の場所について

平日に限り、団体向け昼食会場を1団体30分に限り貸出しています(予約順)。

- 特別支援学校・保育園・幼稚園などの団体は1時間利用できます。
- 昼食は、当施設内のレストランをご利用ください。
- 予約時間を過ぎてご到着の場合、昼食会場を利用できないことがあります。
- 土日祝、およびイベント開催日など、昼食会場を予約できない場合があります。
- レストランでは、食物アレルギー対応のご相談を受け付けています。



営業時間 通常 9:00～21:30 (最終入場21:00) ※GW 8:30～22:00 (最終入場21:30)

アクセス ゆりかもめ 有明テニスの森駅 徒歩3分
りんかい線 国際展示場駅 徒歩9分
※駐車場がありませんので、公共交通機関でご来場ください。

【バスでご来場の場合】 近隣の有料駐車場をご利用ください。

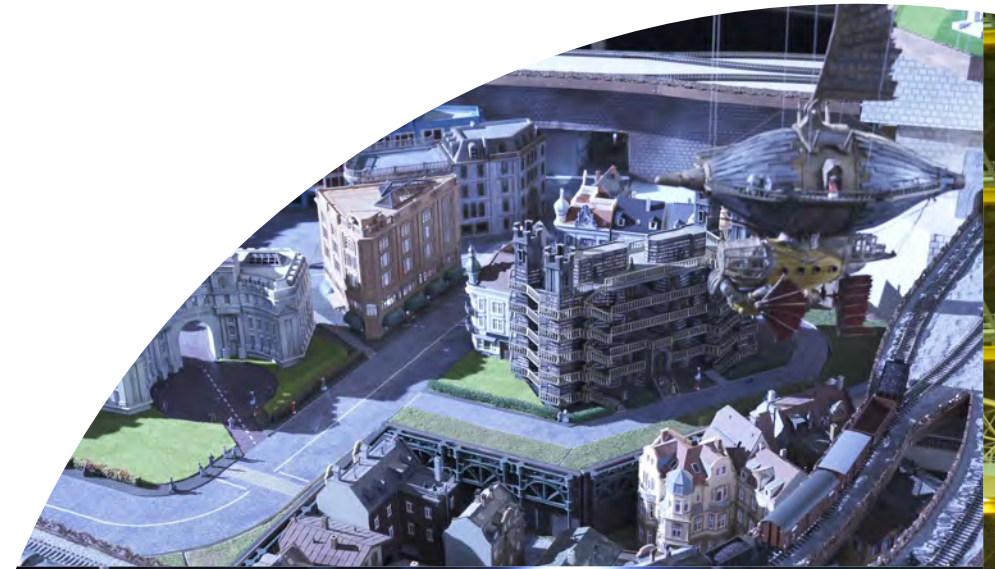
※当施設に駐車場はありません。
※車両によっては道路の通行ができない場合もありますので、予約時にご確認ください
(大型バスは施設前の道路を通行できません)。

small worlds 教育団体受付係 TEL.03-5843-8660 (月～金10:00～18:00 ※土日祝を除く) メールアドレス edu@smallworlds.asia
〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3-33有明物流センター

small worlds

1/80 Miniature theme park

教育プログラムのご案内



小さな世界で、大きな学びを。



生徒[※]に必要な フューチャースキルを養うために

AI(人工知能)の発展を始め、刻一刻と変化を遂げる社会において、生徒たちの未来に何が待ち受けているか予測するのも困難な時代となっています。今こそ、求められるのは教育の変化です。SMALL WORLDS教育委員会で委員長を務める小宮山利恵子(スタディサプリ教育AI研究所 所長 国立大学法人東京学芸大学大学院准教授)は、次代を担う生徒たちには「生きる力」とも言えるフューチャースキルが必須であると考えています。

「フューチャースキル」とは、創造力、課題発見・解決力、回復する力(レジリエンス)、やり抜く力(GRIT)を言い、このスキルを教科横断型で総合的に実践できるのが探究学習です。SMALL WORLDSの教育プログラムが提供するの、精巧な技術と先端テクノロジーが融合したミニチュアテーマパークを活用した探究学習。生徒たちは「動くミニチュア世界」に魅了され、ワクワクしながら、フューチャースキルを養うことができます。

※教育プログラムは小学生から大学生まで対応します。

生徒にも、先生にも、有意義な時間をお約束

point
1

生徒は、モチベーションを上げて、
楽しみながら学習できます。

精巧な技術と先端テクノロジーが融合した「動くミニチュア世界」は、見る人を惹きつけて夢中にし「見たい、知りたい」気持ちを喚起する魅力に満ちあふれています。知的好奇心を大いに刺激された生徒たちは、巨人になった気分の世界を俯瞰しながら、日常では体験できない学習に意欲的にチャレンジすることでしょう。

point
2

先生に安心を!屋内環境下で、
生徒はのびのびと過ごせます。

SMALL WORLDSは屋内型施設のため、外の気候に左右されずに過ごせるのも大きな魅力です。180名収容のワークショップスペースを拠点にして、各フロア一面に広がるミニチュアの展示スペースを巡りながら、生徒は自由にのびのびとプログラムに取り組むことができます。

point
3

各分野の専門家が構築するオリジナルの
プログラムで、効率的な指導ができます。

SMALL WORLDSの教育プログラムは、探究学習にじっくり取り組む「基本プログラム」に加え、各国大使館や国内外の企業、学校や教育団体などが監修する「オプションプログラム」も用意。いずれも生徒の校外学習として有意義な内容となるよう考案されています。学校での事前・事後学習に役立つワークシートも用意しています。



学習の進め方(例)

プログラムはいずれも内容の濃い学びができますが、加えて学校での事前・事後学習も実施することで、生徒たちのさらなるスキルアップを図れます。事前・事後学習に活用できるワークシートも用意しています。

事前学習(学校にて)
想像力をふくらませて仮説を立てよう

基本プログラム①
仮説に基づきじっくり観察して資料を作ろう

基本プログラム②
振り返りをして、学習内容を身に付けよう

オプションプログラム
テーマごとに掘り下げて学んでみよう

事後学習(学校にて)
得た知識や体験を未来に生かそう

所要時間 ■基本プログラム①～② 70～90分
■オプションプログラム 40～90分

SMALL WORLDSの学び

探究学習に取り組む「基本プログラム」、併せてさまざまなテーマごとに学ぶ「オプションプログラム」に参加することで、かけがえのない思い出と、成長につながる大きな自信を得ることができます。

基本プログラム

多様な社会や文化を感じさせる豊かな環境が、生徒の視野を広げるキッカケ作りをサポート。

コース1A みる★★☆ つくる★★☆ ⑦0～90分

1/80の世界に隠されたテーマを探究! 探究学習

テクノロジー、SDGs、ユニバーサルデザイン、国際理解などのテーマを持ってパーク内を探索。じっくり観察して考えてみよう。

- 導入 テーマを理解しよう
- ↓
- 観察 テーマに関する景色やアイテムを撮影しよう
- ↓
- 共有 仲間の視点を知ろう
- ↓
- 編集 発見したことをまとめよう
- ↓
- 再探索 もういちど観察しよう
- ↓
- 振り返り 学んだことを理解しよう



オプションプログラム

STEAM、国際理解、SDGs、キャリア教育といったテーマごとに、多彩な学びの場を提供します。

コース2A みる★★☆ つくる★★☆ ④0分

最先端テクノロジーを探せ
STEAM

ロボティクス、VR、AR、プロジェクションマッピングなどパーク裏側の最先端テクノロジーに潜入してみよう。



コース3A みる★★☆ つくる★★☆ ⑨0分

世界の食を知ろう! 監修: INTERNATIONAL WOMEN'S CLUB
国際理解

世界中にあるスパイスや食材を使って、各大使館の監修を受けた各国料理をシェフから直接学んでみよう。



コース2B みる★★☆ つくる★★☆ ⑥0分

プログラミングを体験
STEAM

SMALL WORLDSが開発した1/80の車の自動制御プログラムを体感し、プログラミングをやってみよう。



コース4A みる★★☆ つくる★★☆ ④0分

SDGs探検ミッションを遂行せよ! 監修: iFT
SDGs

SDGsを知り、パークで発見しながら体験を通して学んでみよう。



※オプションプログラムは追加の参加費が必要です
([「最先端テクノロジーを探せ」と「パークお仕事体験」は無料です])
定員・最少催行人数の設定についても併せてお問い合わせください。

コース2C みる★★☆ つくる★★☆ ⑥0分

1/80の世界を作ろう!
STEAM

日本を代表するモデラー(模型製作者)にプロの技を学び、1/80の世界を自分の手で作ってみよう。



コース5A みる★★☆ つくる★★☆ ⑥0分

パークお仕事体験
キャリア教育

パークの運営に関わるデザイナーやエンジニアなど、プロの仕事現場を見て、体感してみよう。

